

社会福祉法人 創和 便り

和を創りだす共同体

こころの病を 経験した人も していない人も
ともにたまものを 分かち合い 幸福と尊厳を とり戻そう

ゆずり葉の会に伺って

社会福祉法人創和
理事長 黒古次男

先日の10月5日にゆずり葉の会の定例会に1時間ほどですがお邪魔させていただきました。そこで、「せっかくなので・・・」ということで、参加者の皆さんの自己紹介をしていただきました。

お子さんが、創和の施設サービスを利用されている方も半分近くいましたが、お子さんが入院中の方、もう15年も自宅からあまり外へ出たがらない方、病院のデイケアや他市の事業所へ通っていらっしゃる方など、皆さん様々な形でのお子さんの暮らしの様子を抱えながら生活していらっしゃるのだということを受け止めさせていただきました。

親御さんとしては、ゆくゆくは“働く”ということで社会に参画してくれればと願っているのだと思いますが、一足飛びでいかなのがこの病気であり、そこが障がいなのだろうと思います。

言わずもがなのことだと思いますが、まずは、病気のことや服薬しているお薬のこと、様々な福祉サービスが整えられつつあることなどを理解することから始めるのも大切かなと思いました。そして、“先を見る”ことも必要だと思います。法人としても、創和の施設サービスを利用することで、毎日必死で暮らしている方々の思いに寄り添い、その夢や希望の実現のためのお手伝いができるようになればと願っています。

まずは(改めてでも)、りぼんやつどいなどに相談してみる、病院の相談窓口で話してみる、病院デイケアを利用するなどから始められるといいなと思いました。

ゆずり葉の会の方には、貴重なお時間をいただき、本当にありがとうございました。

話は変わりますが、今、入間市では平成30年からの3年間の福祉政策を形作る「第5次障害者福祉

社会福祉法人 創和の事業

- ・就労移行支援・就労継続支援B型事業所
創和ユニット 入間市久保稲荷 1-27-4
TEL/FAX 04-2963-3927
厨房 TEL 04-2946-7855
- ・地域活動支援センター いぶき
入間市扇台3の1の2
TEL/FAX 04-2968-7341
- ・地域活動支援センター さきわい
入間市久保稲荷 2-1-17 セレクトハウス 101
TEL/FAX 04-2966-8188
- ・地域活動支援センター つどい
相談支援事業所 つどい
入間市豊岡 3-8-5 あたご坂ビル 201
TEL/FAX 04-2964-2117
- ・共同生活援助事業
東町ホーム TEL 04-2965-0370
- ・相談支援事業所 創和
- ・入間市障害者就労支援センター りぼん
入間市役所 3階 TEL 04-2901-7088
FAX 04-2966-6791
*
- ・法人本部 入間市久保稲荷 1-27-4
TEL/FAX 04-2965-9978
- ・ホームページ <http://sowa.pupu.jp/>

プラン」を障害者福祉審議会で作成中です。12月ごろにはパブリックコメントが募集される予定のようです。意見は必ず検討されます。日ごろ感じていること、こうなればいいと思っていることなどを意見として提出し、市の施策に反映させることで、より良い暮らしが実現できると思います。

市報やHPなどで広報されますので、ぜひ、関心を持っていただければと思います。

いるティー始めました

いぶき かし

皆様は、いるティーという入間市の新しいマスコットをご存知ですか？ひばりをおすもうさんにした、かわいいゆるキャラです。とてもかわいいマスコットなので、いぶきで、いるティーのグッズをリーズナブルな値段で、販売すること決めました。入間市に住んでる人、好きな人。おみやげなどにどんなアイテムが、お客様のニーズがあるか、いぶきメンバ



ーの皆で時間をかけて話し合いました。あれこれと考えていろいろなアイデアが出てきましたが、シンプルなもの、いいということになって、木工房らしく、木のきりかぶでキーホルダーをつくったら、ハンドメイドのおしゃれなグッズになるのではないかということになり、それに合わせて、メンバーで手ぬぐいデザインしてみたらいいということになり、結局その2つを販売することになりました。特製の焼き印や、業者さんに手ぬぐいを発注したりして、手の込んだつくりになっています。入間市役所のなかの福祉のお店を中心に創和祭、お祭り販売したりすることになりました。プロ顔負けのグッズなので、皆さん、入間市民としてぜひ安心して、ご購入ください。

創和では、メンバーさんが県の卓球大会に参加しました。

新しい職員紹介

松浦弥生

今年 10/10 からさきわいの職員になりました松浦と申します。

実は 2008 年 9 月からさきわいを皮切りに、つどい、いぶきと 2014 年の 11 月まで働かせて頂いておりました。

その後家庭の事情で 3 年程奈良に住んでおりましたが、今年 4 月に入間に戻りました。

入間に戻ったからには懐かしの法人創和で是非再び働きたいと、私の方から法人にお願いし念願が叶いました。

さきわいは私にとっては創和デビューの記念すべき施設であり、そのさきわいで再スタート出来ることはとても嬉しく運命を感じます。

出来る限りのことはしたいと思います。出戻りの私ですが、どうぞ宜しくお願いいたします。

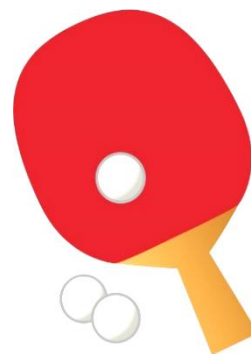
県卓球大会に参加！！

創和では、メンバーさんが県の卓球大会に参加しました。

卓球大会にて

Y.T

10 月 19 日に上尾で、障害者卓球大会に参加してきました。選手はわたしを含めて 4 人でした。最初の総当たり戦では、勝ってみんなホクホク顔でしたが、午後からのトーナメント戦では、1 回戦で負けてしまい、落ちこんでしまいました。私は、緊張してしまい、サーブミスや空振りなどもしてしまいましたが、みんなに励まされて帰ってきました。もっと、練習をして強くなって来年の大会には、一回戦目、勝ちたいと思います。いい経験になりました。



退院して

さきわい by 金ちゃん

去年の 6 月 10 日から入院して最初は、ろうやに入ってすごくつらい思いをして、やっと、今年の 1 月 24 日に退院してきて、やっと 9 月 25 日からさきわいに復活して、すごくつらい思いをして毎日幻聴と妄想の繰り返しして、今だに幻聴と妄想の繰り返しだけれど、まだまだつらい思いをしているけれど、さきわいに帰ってきてこのわきあいあいのふんいきが良くて、古いメンバーさんと新しいメンバーさんとみんな 10 月 26 日に初のビンゴ大会に出て、とても個性豊かな仲間がいて、さきわいはいつもわきあいあいとしていて、久しぶりに月、木、金通ってイベントに出てうれしかった！今後もさきわいで働くのがたのしみです。



年賀状のご注文を承ります。

豊富なデザインを用意しております。11 月 30 日（水）までご注文下さい。

お問い合わせ・・・創和ユニット

TEL 04-2963-3927



評議員・理事会

平成29年度上期の事業報告・決算・補正予算 が承認されました

去る10月30日にイルミンにおいて、理事会・評議員会が開催され、原案どおり承認されました。

上期は、職員の退職などあり、大変な時期となりましたが、他の職員の努力により大きな問題もなく経過しました。

補正予算では、創和ユニットと東町ホームの利用者が増加し、全体としての収入アップが図られるものと考えております。

また、「中央競馬馬主社会福祉財団」から助成金が下りることになり、創和ユニットで古くなった赤い羽根号（マツダボンゴ）入れ替えることにいたしました。二社から見積りを取り、比較検討した結果、日産キャラバンを購入することを理事会で承認いただきました。11月～12月には納車されます。メンバーの仕事に活用し、工賃アップを期待します。



創和の一員になって

本部事務局 大武 謙一

平成29年11月から本部事務局勤務となりました大武です。

平成29年2月1日、社会福祉法人創和の一員になり、あっという間に9か月が過ぎました。2月に採用され、先ずはユニットでメンバーさんたちと一緒に、厨房・畑作業・保健所での作業・健康福祉センターでの作業等々の経験をし、続いて「つどい」で約10日間利用者の皆さんと色々な話をし、「いぶき」でもメンバーさんたちと一緒に作業をしながら話をすることが出来ました。また、職員の皆様からもご指導、そしてお話をしていただいたことを深く感謝しております。

そして、就労支援センターりぼんに支援員として配属されたのが3月23日、りぼんでは7ヵ月間貴重な経験をさせていただいたと思っております。支

援員として早く一人前になりたいと努力してまいりましたがまだまだ半人前の状態で、センター長はじめ職員の皆さんに助けられてここまで来られたと思っております。

私は、幅広く色々な方々とお話しさせていただきことが大好きですので、これからも皆さんとも色々なお話をしていきたいと思っております。

さて、11月から本部事務局での勤務となりますが、皆様のご指導の下、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



支援を考える

昌平

福祉の分野では、日常的に支援という言葉の口にする。

支援と言いますが、支援とは何なのか。子供支援、高齢者支援、障がい者支援などなど、ありますが、三省堂大辞林では【他人を支えたすけること。援助。後援。「友人の事業を一する」「一の手をさしのべる」〔類義の語に「応援」があるが、「応援」は人やチームを元気づけて精神的に助ける意を表す。それに対して「支援」は労力や金銭などの面で、その活動や事業を助ける意を表す】とあります。

要は困っている方を支えることだと思います。

では、福祉における支援とは、確かに生活する上で困っていることを助け、支えることと言えますが、その定義となると多くの論文があります。その中で、【「本人の望む（自己決定）、本人らしい生活様式、ライフスタイルが実現（自己実現）できるように必要な部分を適切に支援すること」、大切なのは、「支援」は相手の立場に立って自分を変えることが必要であるということ。支援される人がどういった状況に置かれており、支援行為がどのように受け止められているかをフィードバック（自省）して、支援される人の意図に沿うように自分の行為を変える必要がある。支援したい、助けたいということをや自己目的化してはならず、相手のニーズをきちんと汲み取る必要がある、ということである。】このような文章に出会いました。とても、大切なことを伝えていると思います。

私達は、多くの場面でメンバーのことを考え、支援を続けています。その方法は、様々と思いますが、その原則を改めて考えながら、行いたいと思います。

今の仕事をする上で、創和の職員として、今一度考えてみました。

創和祭を開催します

創和の「創和祭」を開催します！

模擬店では、カレーライス、フランクフルトなどの軽食、りんご・野菜・衣類やリサイクル品、メンバーが制作した木工品などを販売します。毎年恒例の南京玉すだれや朗読劇・バンド演奏・コーラスやギターデュオなどのイベントやレジンアクセサリー作り、カイロプラクティックもあります。

また、絵画・書道などの展示も行います。お気軽に遊びに来てください。

【日時】11月25日(土)10時～14時

【場所】創和ユニット

入間市久保稲荷 1-27-4

創和祭

11月25日(土)10時～14時小雨決行



こんな期末テストはやダ!

今#ひるし



編集後記

夏から秋にかけての天候不順で野菜など高値が続いています◆実りの秋、美味しいものを楽しみたいものです◆10月の総選挙は野党のバタバタで政権与党の大勝になりましたが、私たちの生活が少しでも良くなることを祈りたいと思います◆11月には創和祭を開催します◆多くの方に来ていただき、楽しい時間を過ごしていただきたいと思います

細井

(メンバーからの寄せられた原稿は原文のまま掲載しました。)

後援会費及び一般寄付のご報告

*** 皆様の温かいご協力に感謝いたします 大切に使用させていただきます ***

平成29年7月26日～平成29年10月25日

この間に6名の方とかトリック所沢教会からの寄付金・後援会費などで、177,300円、他に多数の方々から寄付品等のご協力をいただきました。ご協力いただいた方々のお名前を掲載させていただきます。

*カトリック所沢教会、古川和郎、斉藤栄子、清水文乃、金城千穂子、和田晃、匿名の方

(順不同、敬称略)

— 寄付金を募集しています —

*** 寄付金など、常時募集していますので、皆様の温かいご援助をお願いします ***

後援会・寄付の振込先口座：ゆうちょ銀行 00160-2-591708

他銀行からの振込：ゆうちょ銀行 ゼロイチキュー店 当座預金 05917

寄付金は税金控除の対象になりますので、寄付の際は領収書をご請求してください。